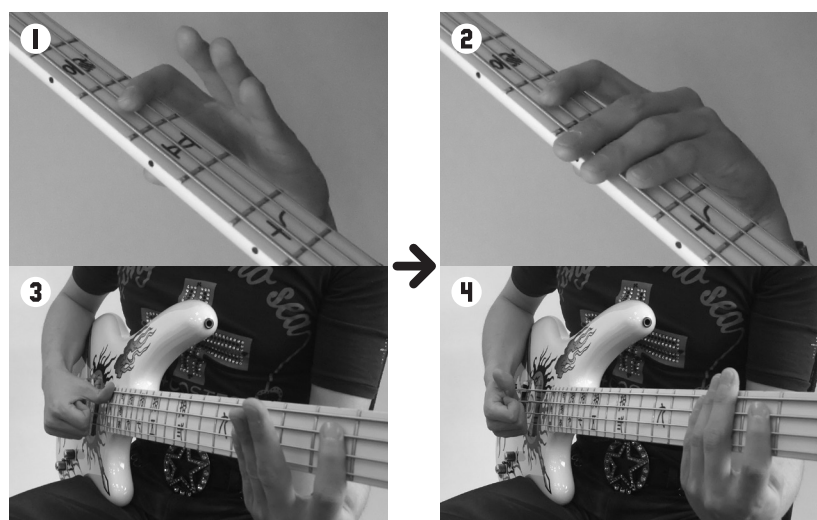


## 【注意点1】 右手&左手

### 音数を楽に増やせる 左手活用スラップ・プレイ

スラップにおいてお手軽に音数を倍増できる方法【註】として、左手で弦を叩いてミュート音を出すテクニック(=音程を付けない左手のタッピング)がある。4弦のミュート音を出す場合は、左手中指・薬指・小指の3本で同時に4弦を叩き、人差指で3〜1弦をミュートする(写真①〜④)。あくまでもゴースト・ノートを出すことが目的なので、ミュートをしっかり掛けることが大切だ。叩く場所は特に決まっていないが、ロー・ポジションを叩いた方が効果的だろう。このプレイは、左手&右手のコンビネーションが肝になるため、両手の動きをきちんと合わせることが大切だ。習得できれば、速射砲のごとく、音を素早く連続で鳴らせるぞ!



① サムピング時には、左手人差指で1〜3弦をミュートしよう。次の左手での打弦の準備も忘れずに!

② 左手でのミュートは、中指・薬指・小指の3本を使うことが大切だ。4弦を力強く叩いて、ミュート音を出そう。

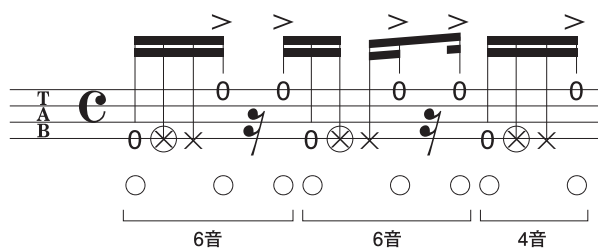
## 【注意点2】 理論

### 音の区切りを頭に入れて ミュート音を鳴らそう!

メイン・フレーズ1小節目はポリリズム風になっていて、16分音符で6音→6音→4音という区切りになる(図1)。1つ目の6音フレーズは、4弦開放をサムピング→左手で叩くミュート音→通常の左手を浮かせたミュートでサムピング→1弦開放をプル→16分休符→1弦開放をプル、という流れだ。この6音パターンが、このフレーズの基本コンビネーションになるので、しっかり覚えるべし! 2音目と3音目のミュート音を、それぞれ違う弾き方で出すことがポイントで、音が弱くならないように気をつけながらも、ゴースト・ノートになるように音量調節に気をつけるとよいだろう。

図1 音の区切り方

・メイン・フレーズ1小節目



6音フレーズは、2音目と3音目のミュート音の弾き方が異なるので、気をつけよう!

~コラム11~

## 将軍の戯れ言

ドラマーがバス・ドラムを連打する場合、当然1バス(片足)よりも2バス(両足)の方がスピードが出る(片足だけでは踏む回数に限界があるため)。ここで紹介している左手ミュートも、ドラムの2バスと同じような発想に置き換えてみると、両手を使うことで効率的に音数が増えていることに気づくだろう(図2)。特にベースを低く構えるロック・スタイルでは、右手親指でのアップ・ダウンが難しいため、左手ミュートは非常に重宝するだろう。このページのエクササイズを使って、両手の連打がバランス良くできるようになろう!

## 発想はドラムの2バスと一緒に!? 左手活用スラップのメリット

図2 両手を使うメリット



両手(両足)を使うことで、片手(片足)よりも、音数を効率的に増やすことができる。

【お手軽に音数を倍増できる方法】音数を増やす=速く弾くためには、とにかく鍛錬が必要。しかし、ワンランク上のベーシストを目指すなら、エクササイズばかりを行なうのではなく、燃費の良い弾き方を探することも大切だ。